

（議長 寺島渉）

日程第 1、一般質問に入ります。

質問の順序につきましては、お手元に配布の一覧表のとおりであります。

一問一答方式による活発な分かりやすい質問、答弁を期待しております。

なお、質問事項はあらかじめ通告されておりますので、簡潔に発言されるようご協力をお願いします。

それでは発言順位 7 番、議席番号 2 番、大川憲明議員を指名します。大川議員。

（2 番 大川憲明）

議席番号 2 番、大川憲明です。それでは、通告に従いまして質問させていただきます。

1 番の東高原の活性化について、まずお聞きしたいと思います。その 1 の平成 13 年に京急と旧牟礼村が等価交換した土地約 2 ヘクタールの利用方法について伺いたいと思います。

飯綱町では、土地開発公社が既に解散して無くなっております。それゆえ、現在、町の所有の土地の利用方法は町が直接行うということになると思います。そのことを踏まえた上で、京急電鉄所有であった別荘予定地、約 2 ヘクタールと旧牟礼村所有の飯綱温泉跡地の等価交換された、現在、町が所有している約 2 ヘクタールの土地の活用をどのようにするか、その利用方法について伺いたいと思います。

この 2 ヘクタールの土地は、東高原の現在のオートキャンプ場の東側、そしてそのすぐ東側は民有地があります。その民有地の横、その東側に 2 ヘクタールの土地が等価交換された京急の別荘予定地であります。

当時、その現地視察した時は、そこは素晴らしい雑木林であり、舗装道路で区画を整備されておりました。そして、そこででは最初水道も自分のところで出そうということで、そこで水道を掘ったと。しかし、水が出なかったから結局別荘の開発はやめたという話で、そして今の飯綱温泉の跡地に京急のゴルフ場の宿泊地を造るんだと。そういう予定で当時の牟礼村に交換を申し込んで当時の牟礼村が受けたと。これは町長はご存知だとは思いますが、多くの議員の皆さんは合併前だったもので、たぶん当時居た 2 人ぐらい、私含めて 3 人だけは知っている。現地まで行ったはずだから知っていると思います。その件について、町長にどのようにあの土地、2 ヘクタールの広い、それで本当に眺めの良い場所です。広葉林の茂った。そして道路も行っていると。どのようにする考えか。

交換して約 13 年、合併してももう十何年経ちます。しかし、今までずっと私も議員している間、この問題に触れた人は誰もいなかったもので、敢えて今日我々の議会の議員としての今期最後の質問でわざわざ触れてみたんですが、それについて町長は率直に今の考えはどう考えますか。それについてお聞きしたいと思います。

（議長 寺島渉）

峯村町長。

（町長 峯村勝盛）

おはようございます。今のいわゆる京急電鉄と交換した横手の上のオートライフという別荘地があるわけですが、その上にある約 2 ヘクタール。これについては、当時、私ども旧牟礼村の立場とすれば、非常に一連の飯綱東高原の観光施設に近いというようなこともあったり、一時かなり観光客の増加等々も見込まれてきているような世の中の風潮もあったりということで、交換は全然問題なく良いだろうということで交換をした、そういう土地だと記憶しておりますけれども、その後、一気にいろいろな意味で、別荘開発をしてみても売行き等々にも心配があるというような状況の中で、現在のところについては、正直言って、具体的な利用計画というものは持ってございません。

ただ、議員がおっしゃるとおり、最近山林の中に企業が進出してきたりとか、そういうような事情、要望等も少し聞いている点もございますので、水道を持っていくとか、消火栓等々の整備とか、そういう設備投資の関係もあるかと思っておりますけれども、非常に良い場所ですので、今後この利用計画を立てていきたいとそういう状況です。

（議長 寺島渉）

大川議員。

（2 番 大川憲明）

今、町長は場所が良いと。それで、できれば消火栓とかをやって、水道を持っていくとか、それをやりながらと。それですけど、ただ私は放っというって、今、例えば普通の企業誘致をしたって来ないと思うんですよ。それで、当時交換した時の村長は確か遠山さんじゃなくて、平井さんだったと思うんです。それで、その時に平井さんがあの土地何とか本当にやらなければいけないなと言って、富士見町へ企業誘致の視察に議員と一緒にいったんです。それで、その時に何を富士見町であの当時勉強したかという、あそこも大手の企業の研究所、それが大部分であって、工場なんて誘致しないと。それは景観が悪くなると。そういうことで研究所だけを誘致すると。そういうことで視察行った時、勉強になったなという話だったんです。だけど、そのまま合併後にもう平井さんも辞められ、その後、遠山さんになってもそのままずっと来てしまったというのが私は現状だと思います。

しかし、今これだけ高速道路も良くなって、新幹線も通じている。今こそそういう企業の研究所も一つの考えだと思います。あれだけの広いところだったら。それも安く貸すか売るかにして企業誘致。

それともう一つは、今、全国的に関東とか暖かいところに大手の企業がたくさんありますけれど、大手企業では自分のところで自分の会社の資料というか、それを全部コンピュータで管理している。その管理するコンピュータを震災にも負けないで、且つ、かなり管理していくには大型のコンピュータで電気を使うので温度が上がってしまうと。それで冷房させなければいけない。そのためには涼しいところが必要なんだと。以前、新聞だか何かで読んだんですけれども、沖縄がその候補になってやろうとしたんだけど、沖縄は自然の温度が高くて、そうすると暖房費が余計掛かると。だから沖縄では駄目だと。そういうことになって、今あちこちで企業が探しているんじゃないかなと、そういう話を伺ったんですけれども、そういう電算とかそういうのじゃなくて、一般企業の自分の会社の資料、それを全部コンピュータで管理しているんですから、それが災害あってもすぐ引き出せるというためには、そういうところで経費を掛けないでやりたいという企業が増えているのが今の現実だそうです。

だから、私はそういう企業に対して働き掛けていけば、何とか 2 ヘクタールを貸すか売るかできるんじゃないかと思うんです。そういうものであったら、町全体の観光における景観、ビルを造るわけじゃないですから。林の中に平屋のそういうものを造ってやれば、一向に町民会館の方から見たって、よこ亭のところに変な建物は建たないと。林の中にあると景観は良いから。そういうものに町の方で考えて、そういうのを中心に企業にあたらいかかなものかと思うんですが、それについてどう思いますか。

（議長 寺島渉）

峯村町長。

（町長 峯村勝盛）

先ほども少し申し上げましたけれども、敢えてそういう林間工場、林間企業というようなかたちで希望されているということもあるし、ご提案の選択も一つだと思います。

現実的に実は飯綱町にも薬の研究所を建設したいというようなことで、良い適地を紹介して欲しいというような問い合わせがあって、それも研究所だから誠に良いのではないかなと取り組んだ経過もございましたけれど、残念ながら小諸にもっと良い適地があったようで、そちらの方に進出というようなふうになりました。

雪の対策というようなことも、東高原の場合は考えていかなければならないだろうと思っておりますけれど、いわゆるサテライトオフィス、IT 関係の企業であれば、十分仕事はできるエリアだというふうには思っております。

農業に関連したことで統一的に取り組んでいきたい。だから企業誘致も何とか食品研究所とか、何々を加工してそれを薬に、りんごや野菜から新たな健康食品など、薬を開発していく研究所とか、そういう一連の農業を基盤とした企業誘致というようなことも基本に置きながら取り組んでいきたいと思っておりますけれども、広く日本全国にどうですかというのではなくて、私どもも少し的を絞って、一つの適地をきちんと用意して、こういう条件を整備してあるけれども、お宅の会社でどうでしょうか、そういうような具体的なアタックをしていく時代になっているだろうと思っておりますので、ご意見を参考にさせていただきながら、取り組んでいきたいと思っております。

（議長 寺島渉）

大川議員。

（2 番 大川憲明）

それは本当に良いと思いますけれど、期限を切れというのは無理だと思いますけれども、町の財政も厳しいので、これはなるべく早く真剣にやっていただきたいなと思います。それがまた、その研究所に来た人たちが住み、そして自然の中の観光地で疲れた体を休めるには最高の場所なので、是非、それを早めにやるようお願いいたします。

それでは、引き続いて括弧 2 番の東高原のグラウンドの利用方法についてに移りたいと思います。まずその前に東高原の年間利用者数、これを担当からお聞きしたところ、平成 24 年から東高原全体での利用者数です。24 年では 30 万 1 千人、そして 28 年度にはそれが徐々に下がってきて 28 年度には 23 万 8 千人と。約 2 万人です。その間に減っていると。それが全体での話です。

グラウンドだけを見ると、グラウンドの利用者数というのが、28 年には年間で 523 名だったと。そういうことをお聞きしております。昨日の同僚議員の質問でも東高原でノルディックウォーキングのコースを整備したり、また黒姫・妙高間の大学駅伝のコースを飯綱町まで延ばしたり、そして東高原の活性化の提言がなされておりました。

そこで、町長に伺いたいんですが、合併時の遠山町長は東高原の観光事業について、飯綱町へ対して経済効果は 4 億から 5 億考えられると、そのように私の質問に対して答えておられました。町長は今、東高原で観光をやっているこの観光事業で飯綱町にはどのぐらいの経済効果があるとお考えでしょうか。

（議長 寺島渉）

峯村町長。

（町長 峯村勝盛）

単純に売上高みたいなものを積算させていただければ、オーガニックリゾートに任せている温泉を含めた等々で約 3 億。本来ならスキー場でだいたい普通なら 1 億。従って、売上の報告がある積算で言えば 4 億というのが、今も同程度の推移をしているのではないかと思います。あと、それぞれの広く東高原と言わしてもらえば、ペンションとか民宿等々への宿泊の関係がそこにプラスになるという状況だと思います。従って、4 億前後というのが非常に的を得た金額ではないかと思っています。

（議長 寺島渉）

大川議員。

（2 番 大川憲明）

確かにそういう資料いただきましたけれども、いろいろなところの売上金とか納付金とかの合計やってみると確かにそうなるだろうけど、ただ私は町長言われたとおり、ここの売上金じゃなくて、その人たちがここの町内の食堂に寄ったり買物したりして、それも経済効果に繋がって、またスキー場にしても温泉にしても、この町の従業員を使うことによって、それも町の経済効果に繋がっていると思うんですよ。だから、その当時の遠山町長は、この飯綱町にとって、東高原の観光というものは非常に大切な産業であると、そう答えておられました。町長も考えはたぶん遠山町長とは変わらないんじゃないかなと私は思います。

そこで、先ほど言いました東高原のグラウンドの利用方法なんですけれども、これが先ほど言った 523 人、昨年度。これを増やす方法によって、昨日の同僚議員の質問もありますけれども、ノルディックウォーキング、それから駅伝、そしてあそこのグラウンドの利用を増やすことによって、あの地域にはテニスコートもありますよね。ゲートボール場は無いけどマレットゴルフ場はありますよね。ゴルフ場もあります。あそこを一大のスポーツの観光施設という考えはできないでしょうか。

私はあのグラウンドを全面的に水はけの良い芝生のグラウンドにすべきだと思います。というのは、この北信地区で、菅平は北信ではないですけど、普通の一般のグラウンドで完全な芝生のグラウンドというのは無いです。千曲川の河川敷の中に 1、2 面あるだけ。ちゃんとしたのは長野パルセイロの使っている長野市の芝生のサッカーの練習場のみです。あとはあってもほんの僅か。そういうスポーツを本格的に練習する芝生のグラウンドはないんです。それで、こういう芝生のグラウンドをやることによって、そうすると芝生のグラウンドというのは水はけが良いから、少々の雨だったらそこで球技ぐらい

ならずすぐできるんです。雨が止めばすぐ利用できます。ここの面積というのが、確か幅が 170 メートル、同じ幅ですけど約 100 メートル、そういう広い所なんです。そうすると正式なサッカー場とやろうとしても、サッカー場の J リーグの規格もそうだし、国際のワールドカップの規格も、あれは 105 メートルの 68 メートル、それが正式のフィールドの大きさなんです。そうすると今の長野にあるプロのパルセイロの練習する所は河川敷ですから、大雨さえ出ればすぐ使えなくなる。その時に練習する場所が無いんですよ。スタジアムというのはあれは試合用ですから練習には一切使えません。管理の関係上。冬場だってあの人たちは千曲の所でやったり、雨降れば中のコンクリートの所で練習しているのが現状です。そういうふう考えた時に、今サッカー人口もすごく増えています。私もサッカーが好きなので、だいたい空いていれば日曜日の日、サッカーの応援に行っております。そういう関係で行ってみると非常に小学生が多いんです。そして、普通の公園ではだいたいの芝生の所では、子どもたちがボールを持ち込んだり、キャッチボールすることは禁止されていますよね。南長野運動公園の芝生だけはサッカー場と野球場があるためかどうか、あそこの所で子どもたちがサッカーボールを蹴っても、キャッチボールをしても許可されているんです。そのせいかすごく大勢が晴れた日は子どもたちが来ています。そういうことを考えた時に、野球もそうだし、野球のコートだったらあそこで 2 面は取れます。それでソフトボールなら 3 面は取れる。サッカーの練習だったら間違いなくあそこも 3 面は取れます。正式な競技場じゃなくても。そうすると、その人口だけだって、それを毎日使えるように、雨の日も大して関係なかったら、かなりの客が五百何名なんてものじゃなくて来るんじゃないかと。

それで私のやっている参考までに言いますけれど、ゲートボールの全国大会になると全て芝生の所でやります。長野のゲートボールの決勝リーグというのは、それも芝生の上でやります。確かに飯綱町のゲートボール場は室内で素晴らしいのを作っていただいてもみんな喜んでおりますけれども、そういう所へ行くとやった場所が全然違うんです。特に長野の場合は、どこにもみんなこのチームも無いから、芝生でやっている。そして、だいたいが陸上競技場の中でやるんです。陸上競技場の中だから腕が良からうが運良ければ勝つと。そういうような状態が今の実際のゲートボール場です。

ところが一昨年、新潟の世界大会のゲートボール大会で見た時、それはしっかりと整備された芝生の中でやっておりました。そういうことを考えると、スポーツだけでも、球技だけでもかなりの量ができる。それでゲートボールだったらあそこで作れば 20 面以上取れます。そうすると今年の雨で中止なんてことはあり得なく必ずできると。そうなる利用率というのが非常に上がるんじゃないかと私は今思うので、この芝生の張りというものの考えはあるでしょうか。

(議長 寺島渉)

峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

あのグラウンドは、霊仙寺湖を作る時にあそこから土を取って、堤防を築いたその跡地利用で今使っておりますけれども、鶴見女子大に寮をお貸しいただきたいという時に大学からお話があったのは、男女共学になったので、野球部の合宿としてあそこを整備してもらえなら使いたいけれどもどうでしょうかというような、実は問い合わせもございました。

芝生を植え付けて、それを管理していくという意味では、あそこにオーガニックに委託しているゴルフ場がありますから、グリーンキーパーの確保については、さほど問題なくできるのではないかなと思っておりますけれども、多分、もう一度地盤から整備をして、新たに転圧をして芝生を植え付けていかなければならない工事にはなると思っています。非常に芝生にするというのは魅力的な提案であるということは、間違いなくそのとおりだと思っております。

ただやはり、何とかそこを収益的にもとんとんになるような利用をしていくためには、サッカーが良いのか何が良いのかという問題はあるかと思っておりますけれども、昨日から度々そのようなことを申し上げて恐縮ですが、東高原エリアの研究委員会、もし今の既存の施設に捉われずに新しく観光というものを考えた場合には、どういうふうに施設があったら、どういうふうに使ったら良いかということの基本になって考えていきたいというようなお話も伺っております。そんな中で、これからの時代です、やはりある程度の収支の見込みが立つような、そういう方向の中で、是非、芝生化というのは大きな希望として考えていきたいと思っております。

(議長 寺島渉)

大川議員。

（2 番 大川憲明）

今、経済効果も考えて、芝生化は魅力あると言うけれども、私はこのグラウンドをサッカーの練習場にしろというんじゃないんです。ソフトボールも野球も球技であろうがあらゆるスポーツができる、そうすると野球なら野球になっちゃうと、その野球のチームだけで終わっちゃうんですよ。しかし、サッカーだったら、今、長野市の小学生はかなり、この飯綱町もそうですけれど、野球よりサッカー熱の方が高いんじゃないかというほどサッカー。だから、今まで弱かった長野の北信の高校だってかなりサッカークラブが強くなりましたよね。その人たちだって、今高校ではグラウンドはみんな土のグラウンドでやっています。それが勝ち上がって行けば、最終的には芝生のグラウンドでやる。そういうのは早くから慣らさせるためには、飯綱町でそういうサッカーもできたり、そういうのできるんだということを北信の教育関係のところ伝えて、それで申し込みさえすれば、1 日いくらでお貸ししますよというかたちをとれば、かなり来るんじゃないですか。

それとゲートボールだって、あそこでやるとなれば、1 日 400 人から集まるし、それを県の方へ県大会は飯綱でやれということに連盟の方でやればかなりの客が来ると。利用率というのが一気に上がると思うんですよ。

今、是非野球もそうですけれど、芝生の内野だって芝生の野球場がプロだってみんなあるんですから、そうすればできるんですから、サッカーとかそういうものに限らず、そういうふうにやってスポーツ全体をそのグラウンドでできると。陸上だってできる。そういうような考えで一般的なグラウンドの芝張りをグラウンドにしたらどうかというのが私の提案なんです。だから、そういうふうによれば私は間違いなく採算は合うんじゃないかと思います。

それと、町長はいつも言っておられますけれども、観光の仕事というものは、要するに全く同じまま設備投資をしないでやっていけば徐々にじり貧になっていく。しかし、そういうものに金を入れて何とかやるというのは、行政の仕事としては不向きだとそのようにいつもおっしゃっていますが、確かに大きな金を入れて何かやるというのは非常に大変だと思いますけれども、要するに水はけの良いグラウンドに整備して、芝生を張る。それは何十億も掛かる金を出すわけじゃないんですから、1 日も早くそうやって、雪解けから雪の降るまで、あのグラウンドは常に飯綱町へ行けば野球でもサッカーでも何でもできるんだと。そういうグラウンドにすることによって、東高原のスポーツエリアが広がっていくんじゃないですか。ついでにその時には、その横にあるテニスコートもしっかりと直してテニスもできる。そして湖畔ではノルディックウォーキングができる。陸上競技の人たちもやろうと思えばそこで走れると。そういうような、あそこの霊仙寺湖周辺をスポーツエリアとして考えたら、それすぐやった方が良くないかと思いますが、町長どうお考えでしょうか。

（議長 寺島渉）

峯村町長。

（町長 峯村勝盛）

私、全く反対というわけではなくて、いろいろな意味で資金的にもきちんと段取りができれば、またその後の維持、管理に一体どのぐらいの費用に要するのか、そこら辺も含めて、それでもやった方が面白いとなれば、いくらでもゴーサインを出してやりたいと思っております。

松本市の保育園は、全部園庭が芝生にしてあるわけです。子どもたちが裸足で出て非常に素晴らしいと。だから東高原もいいけど、この際、学校が統合されるのだったら学校のグラウンドを芝生にした方がいいんじゃないかとか、いろいろなお話もあるかと思いますが、東高原は東高原としてあれだけの財産で、そこへ来るには霊仙寺湖からの素晴らしい景観を必ずや見るチャンスがあるというふうに思いますから、是非、議員のおっしゃるようなことも一つ考えていきたいと思っています。ちなみに参考に申し上げますけれども、テニスコートも昔のテニスコートで全天候型はどうにもならない。あれを全部やり直すと言えば、やはり億という金を用意しなければならぬというような、観光というのはなかなか大変なものであるなというイメージは持っておりますけれど、大いに参考にさせていただきたいと思っています。

（議長 寺島渉）

大川議員。

（2 番 大川憲明）

今、町長も観光は金が掛かると言います。だから今、私、二つ質問していますけれども、これ一つにものを考えたらいかがですか。あの別荘地を早くどこかに売却し、その利益でこれ直せば何とかなるんじゃないですか。そういうふうを考えて進んでいくべきと私は思うんですけど、それはいかがなものでしょうか。

（議長 寺島渉）

峯村町長。

（町長 峯村勝盛）

私も当然それは頭の中に入れて考えております。

（議長 寺島渉）

大川議員。

（2 番 大川憲明）

今の芝生の入れ替えだって、ここに今日、観光協会長さんの古木さんがいらっしゃるから、すぐ分かると思うんです。あそこの水はけを良くして、芝を張るにはどのぐらい掛かる。そして芝の管理にはどのぐらいの年間費用掛かるかと。これだってプロが飯綱町にいらっしゃるんですから。そういうことをしっかりと観光協会長にお聞きしてやれば、面倒なことじゃないと思いますが、いかがですかそういう考えは。

（議長 寺島渉）

峯村町長。

（町長 峯村勝盛）

繰り返しの答弁で恐縮ですが、グリーンキーパーと呼ばれる技術のある方が、すぐ近くの飯綱ゴルフコース管理をされているわけですから、当然その人たちの力を借りれば、それは十分可能だと思います。

（議長 寺島渉）

大川議員。

（2 番 大川憲明）

それでは 1 番の質問はしっかりやってもらいたいということで終わりしたいと思います。それでは 2 番の雪捨て場の改善策について、これについてお聞きしたいと思います。

牟礼の B & G 駐車場に今年の冬運ばれた雪の雪解け水が、5 月になっても下の畑に流れ込んで、そのために 5 月になっても畑をおこせなかったと。あそこの畑は今までずっとかぼちゃを作っていたんだそうです。かぼちゃを収穫して売るには、お金になるのはお盆前なんだと。これ嘘か本当かと思って農協へ行って聞いてみたんですよ。農協で聞いたら、お盆前に出せば、一箱 4 個入りで 1,000 円を超えるんだそうです。飯綱町のかぼちゃは、B 級というので出しているんだそうです。B 級というのは私もよく知らなかったんですけど、普通、真っ青なかぼちゃに黄色みがかかると、それ B 級なんです。真っ青のかぼちゃを作るのは非常に難しいと。だから誰でも作れるようにというので、飯綱支所では B 級のかぼちゃでいいから、それを作ってくれというので奨励したそうです。

それで、盆前は確かに今年も一箱 1,000 円超えたそうです。しかし、盆を過ぎた途端に 300 円を割ったそうです。それで、このうちの畑は、先ほど言ったように雪解け水がずっと流れこんで、5 月になってもまだ流れていたの、そのために耕すことができなくて、種をまくことができたのは 5 月の下旬だったんだそうです。決して間に合うわけございません。それで、この間見ていたら、採ってきて、うちの物置の中でやっていたら、結局どうなったと言ったら、やはり 300 円にならないみたいなんて言って、

嘆きながらやっていました。

これが私、今年初めてなんだと思ったんです。そうじゃなくて、雪が多く降って、あそこに雪の排雪をするたびに飯綱町は持っていくと。そういうことで、そのたびに流れ込んでいたと。今年みたいに多い時は 5 月頃まで、それで少なくとも 4 月の中旬頃まで流れ込むと。でも、表町周辺の畑の雪解けは 3 月末には無くなるんだと。それなのに水が流れ込んでいるっきに、あそこの畑は耕作できない。そういう話になっております。

そこで私も調べたら、B & G のグラウンドから下りてくるところに、どこにも排水する場所がないんですよ。だからあのまま道へ出て、そのまま道の傾斜もまた悪くて、全部畑の方に流れている。そういう状態なもので、これを何とか改善できないかという話なんですけれども、これについて責任持って何とかできますか。

（議長 寺島渉）
森建設水道課長。

（建設水道課長 森佳也）

まず、そのような状況ということを知らずに申し訳ありませんでした。今年と平成 26 年度が豪雪でありまして、26 年と 28 年に B & G 海洋センターに町の雪捨て場が一杯になってしまった関係で、臨時的に排雪をさせていただきました。

広い排雪場所の確保というのは、町としてもなかなか難しい問題がありまして、今後も申し訳ございませんが、大雪の時には B & G 海洋センターに排雪をさせていただくことがあると思います。ただ、排雪した場合に早めの融雪に心掛けまして、農地に迷惑が掛からないような対応をしまいたいと思いますので、ご理解をお願いしたいと思います。

（議長 寺島渉）
大川議員。

（2 番 大川憲明）

雪を溶かすかどうかということだと思いますけれども、しかし、本当はできれば、要するに町民会館へ上がっていく、あそこの所に側溝を掘って雪を流すような状態にすれば、一番いいんですけど、予算もあるからすぐにできないとなれば、行政で責任を持って大雪の時には、4 月に入ったら 4 月の上旬のうちに雪を溶かすか、溶けないのは、福井団地の排雪場所、あそこへ移動するとそういうことは可能だと思うんですよ。減ってきているんだから。一杯の時は無理ですけど。そういうことやって、町民の耕作している畑とか町民に除雪のための雪置き場で迷惑掛けるというのは行政の一番の手落ちだと思いますもので、これだけはしっかりと責任持って、仮に今年もまた大雪だった時には、来春はしっかりやっていただけるものではないかと、もう一度確認したいんですが。

（議長 寺島渉）
森建設水道課長。

（建設水道課長 森佳也）

今、大川議員さんがおっしゃったように対応していきたいと思っております。

（議長 寺島渉）
大川議員。

（2 番 大川憲明）

しっかりやってもらえるということで、それをまた言われた町民の方へもお伝えして納得してもらおうようにいたします。これで一般質問終わりたいと思います。

（議長 寺島渉）
大川議員、ご苦勞様でした。暫時休憩に入ります。

再開は 9 時 50 分ということにします。